

## 学校評価シート（自己評価）

ひまわり 幼稚園

### 1、園の教育目標

#### <教育理念>

温かい関係の中で子どもたち一人ひとりを大切にする

#### <教育方針>

経験の場をおしひろげた保育

積極的な体力づくり

ご家庭とともに歩む保育

#### <教育目標>

規則正しい生活を送る（よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ子）

意欲と思いやりの気持ちを育む（生き生きとしたやさしい子）

話をしっかり聞く環境を整える（お話や絵本の好きな心豊かな子）

### 2、具体的な目標や計画

評価項目に掲げられた観点に基づき、各教職員が自園の保育活動等について客観的な評価を行い、問題点を改善していくことで、さらなる教育内容の充実を図る。

### 3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
教育内容の向上	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の定例会議（各園から園長を含む数名が参加）などで、課題や改善点などを話し合い、幼稚園間の情報交換を密にすることで、各園の保育の質を高め合うことができた。</li> <li>・コロナで中止となっていた行事を再開したが、単に元に戻すのではなく、学年ごとの分散開催などコロナをきっかけとして改善できた点を活かし、よりスムーズな運営ができるようになった。</li> </ul>
教職員の資質向上	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各担任教諭が夏休み中に研修や講習会などに参加し、幼児教育に関する専門性を高めた。また、行事ごとの反省会などで活発に意見を交換することにより、経験の少ない教員の学びにつながった。</li> </ul>
安全衛生・感染症対策	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策として保育室やバス等の消毒を徹底した。</li> <li>・教職員に感染者が複数発生した場合も、法人内の他園からの応援により、クラス運営・バス運行などに支障が生じずに園運営を行うことができた。</li> </ul>
業務の効率化	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種のアンケート・申込等の回答について、紙からネットでの回答への切り替えを進めた。</li> <li>・幼稚園・保護者双方の便宜のため、現金集金から口座振替等の集金への切り替えを進めた。</li> </ul>
保護者との連携	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園だよりやメールなどで必要な情報を発信したほか、個人面談や随時の電話連絡により、保護者との連携を図った。</li> <li>・子どもの幼稚園での様子を知りたいという要望が多かったため、動画を配信したり、担任教諭が保育中に撮影した写真を購入できる仕組みを整えるなどした。</li> </ul>

#### 4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	職員会議等を通じて各教職員が取り組むべき課題を共有し、それぞれの職務の中で他の教職員と連携しながら課題解決のために取り組むことができた。

#### ○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

#### 5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
教育の質の向上	学年ごと、園ごと、法人全体などで話し合う機会をできる限り設け、風通しの良い職場づくりをし、教職員間でアイデアを出し合うことにより、日々の保育や行事を継続的に改善し、教育の質を高めていく。また、幼少連携の観点から、小学校教員との意見交換などをより緊密に行い、小学校への進学を見据えた充実した教育内容とする。
保護者との連携強化	ホームページや園だより、担任教諭からのメール等で幼稚園の情報を積極的に発信し、保護者の理解を深められるよう努める。また、個人面談やクラス懇談会などの機会を通じて、直接、意見を交換することで、幼稚園と保護者間で相互に理解を深めるように努める。
業務の改善	業務の見直しを継続して実施し、ペーパーレス化、キャッシュレス化を推進することで、アナログでの事務処理をできる限り少なくし、保護者・幼稚園双方の負担軽減を図る。ペーパーレス化については、令和5年度の取り組みとして「コミュなび」の機能を活用し、用品、教材の注文をネット上で行えることができるようにする。

## 学校評価シート（学校関係者評価）

幼稚園 学校関係者評価委員会

日時 令和5年11月6日（月）

10:00～11:00（時間）

出席者 評価委員（保護者）4人

評価委員（ ）人

### 1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

- ・概ね適切だと思われる。

### 2. 評価結果の内容は適切であったか

- ・保護者との連携については、担任教諭により連絡の頻度に差があるため、一括して評価しづらい。
- ・上の子の時と比べ、現金集金が減るなど、業務の効率化が十分進んでいると感じており、自己評価に対する結果が少し厳しいように感じた。

### 3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

- ・概ね適切だと思われる。
- ・保護者との連携の強化は特に充実を図ってほしい。

### 4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

- ・概ね適切だと思われる。
- ・業務の改善については、キャッシュレス化が推進されて、保護者の負担もかなり軽減されていると感じる。

## 学校評価シート（自己評価）

ひまわり東 幼稚園

### 1、園の教育目標

#### <教育理念>

温かい関係の中で子どもたち一人ひとりを大切にする

#### <教育方針>

経験の場をおしひろげた保育

積極的な体力づくり

ご家庭とともに歩む保育

#### <教育目標>

規則正しい生活を送る（よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ子）

意欲と思いやりの気持ちを育む（生き生きとしたやさしい子）

話をしっかり聞く環境を整える（お話や絵本の好きな心豊かな子）

### 2、具体的な目標や計画

評価項目に掲げられた観点に基づき、各教職員が自園の保育活動等について客観的な評価を行い、問題点を改善していくことで、さらなる教育内容の充実を図る。

### 3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
教育内容の向上	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の定例会議（各園から園長を含む数名が参加）などで、課題や改善点などを話し合い、幼稚園間の情報交換を密にすることで、各園の保育の質を高め合うことができた。</li> <li>・コロナで中止となっていた行事を再開したが、単に元に戻すのではなく、学年ごとの分散開催などコロナをきっかけとして改善できた点を活かし、よりスムーズな運営ができるようになった。</li> </ul>
教職員の資質向上	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各担任教諭が夏休み中に研修や講習会などに参加し、幼児教育に関する専門性を高めた。また、行事ごとの反省会などで活発に意見を交換することにより、経験の少ない教員の学びにつながった。</li> </ul>
安全衛生・感染症対策	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策として保育室やバス等の消毒を徹底した。</li> <li>・教職員に感染者が複数発生した場合も、法人内の他園からの応援により、クラス運営・バス運行などに支障が生じずに園運営を行うことができた。</li> </ul>
業務の効率化	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種のアンケート・申込等の回答について、紙からネットでの回答への切り替えを進めた。</li> <li>・幼稚園・保護者双方の便宜のため、現金集金から口座振替等の集金への切り替えを進めた。</li> </ul>
保護者との連携	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園だよりやメールなどで必要な情報を発信したほか、個人面談や随時の電話連絡により、保護者との連携を図った。</li> <li>・子どもの幼稚園での様子を知りたいという要望が多かったため、動画を配信したり、担任教諭が保育中に撮影した写真を購入できる仕組みを整えるなどした。</li> </ul>

#### 4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	職員会議等を通じて各教職員が取り組むべき課題を共有し、それぞれの職務の中で他の教職員と連携しながら課題解決のために取り組むことができた。

#### ○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

#### 5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教育の質の向上	学年ごと、園ごと、法人全体などで話し合う機会をできる限り設け、風通しの良い職場づくりをし、教職員間でアイデアを出し合うことにより、日々の保育や行事を継続的に改善し、教育の質を高めていく。また、幼少連携の観点から、小学校教員との意見交換などをより緊密に行い、小学校への進学を見据えた充実した教育内容とする。
保護者との連携強化	ホームページや園だより、担任教諭からのメール等で幼稚園の情報を積極的に発信し、保護者の理解を深められるよう努める。また、個人面談やクラス懇談会などの機会を通じて、直接、意見を交換することで、幼稚園と保護者間で相互に理解を深めるように努める。
業務の改善	業務の見直しを継続して実施し、ペーパーレス化、キャッシュレス化を推進することで、アナログでの事務処理をできる限り少なくし、保護者・幼稚園双方の負担軽減を図る。ペーパーレス化については、令和5年度の取り組みとして「コミュなび」の機能を活用し、用品、教材の注文をネット上で行えることができるようにする。

## 学校評価シート（学校関係者評価）

幼稚園 学校関係者評価委員会

日時 令和5年11月6日（月）

10:00～11:00（時間）

出席者 評価委員（保護者）3人

評価委員（ ）人

### 1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

- ・適切に設定されていると思う。

### 2. 評価結果の内容は適切であったか

- ・概ね適切だと思う。
- ・長女の在園時と比べると、集金やアンケートの簡便化等で便利になった。園での様子を知る機会も増えており、「B」とした2項目についても保護者としては高く評価できる。

### 3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

- ・適切に設定されていると思う

### 4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

- ・概ね適切であると思う
- ・保護者との連携強化については、各クラスによって違いがあるように思う。